

## 三陽商会と「SANYO オムニチャンネル基盤」の構築を開始

～アパレル業界初「BizXaaS オムニチャンネル」採用により、三陽商会の戦略を推進～

三陽商会と NTT データは、三陽商会が目指す次世代型 E コマースの実現に向け、店頭と EC の融合・外部 WEB サイトとの情報共有を行う「SANYO オムニチャンネル基盤システム」の構築を開始した。本システムでは、同一の基盤上で複数の EC 店舗の運営や、店頭在庫も含めた在庫の販売等を行えるようにすることで、リアル店舗と EC 店舗の融合を目的としている。また、NTT データが提供する外部サイトの連携を前提に設計された「BizXaaS オムニチャンネル」をアパレル業界として初めて採用することで、自社店舗・EC サイトだけでなく他社の EC サイト等へ同じ情報を提供することが可能となり、EC チャンネルが簡単に広がるオムニチャンネル基盤を実現できる。本システムは 2015 年夏より段階的な稼働を予定している。

三陽商会は、複数のブランドにおける次世代型 E コマースの実現に向け、オムニチャンネル基盤の構築やビジネス変化に対応できる柔軟性の確保などを改革のコンセプトとして掲げた「オムニチャンネル・オムニメディア」化を推進し、三陽商会のさらなるビジネス成長に向けて積極的な取り組みを行ってきた。一方 NTT データは、昨今のオムニチャンネルシステム構築のニーズに対応するべく、2014 年 4 月より、顧客、商品、在庫、注文情報の一元管理を実現する「BizXaaS オムニチャンネル」の提供を開始し、システムを構築していく過程で顧客からの意見・要望などの情報を蓄積してきた。

三陽商会および NTT データはこれまでも EC サイト「SANYO iStore」において、BtoB 倉庫連携や店舗取り寄せサービスを開始注し、リアルとデジタルの融合を共同で推進してきたが、複数ブランドのマルチテナント展開を実現し、また、様々なチャンネルとの商品・在庫連携、

多言語・多通貨対応、今後の事業スピードにあわせた拡張性を可能とする「BizXaaS オムニチャンネル」を三陽商会が高く評価し、今回両社で「SANYO オムニチャンネル基盤システム」の構築に着手することとなった。

「SANYO オムニチャンネル基盤システム」では、SANYO iStore やその他の EC サイト等の様々なチャンネルから商品の参照・購入が可能になるなど、お客様の利便性の向上や、購入者を取り巻く様々なチャンネルで顧客属性に応じた購入機会の提供を目的としている。

また、NTT データは「SANYO オムニチャンネル基盤システム」の構築に加え、稼働後のシステム保守・運用サービスを受託した。システム構築と保守・運用サービスを一貫して提供し、システム稼働後も継続的に三陽商会の事業を最大化するための施策を IT 面でサポートしていく。

なお、2015 年 8 月に「SANYO iStore」をオムニチャンネル基盤上に移行後、段階的な稼働を開始する予定だ。

「BizXaaS オムニチャンネル」は、海外市場で多くの企業に選ばれている独ハイブリスソフトウェア社のオムニチャンネル・コマース・プラットフォーム「hybris Commerce Suite」をベースに、NTT データの顧客接点領域の構築・運営のノウハウを組み込んだオムニチャンネルソリューションだ。アマゾン ウェブ サービス (AWS) 上に構築し、Web サイトのアクセス状況に応じてスケール可能なソリューションとなっている。

NTT データ ビジネスソリューション事業本部  
クラウドコンピューティング事業部 TEL : 050-5546-8337